

財團法人協調會大阪支所

動ニ對シテモ重大ナル責任ヲ有スルモノト思ウノデアリマス
 近々十二、三年間ニ劃期的ナ大成功ヲ收メラレタ海員組合ハ海員
 組合ヲ中心トスル日本勞働組合會議ヲ指導シテ國際協調國際親善
 ノ方面ニ向ツテモ一層ノ努力ヲ願ヒ度イト思ウノデアアル手取り早
 ク云ヘバ日米ノ關係ニ就テハ數年來危險ナモノガアリ太平洋上ニ
 ハ何時戰雲ガ見舞ウカモ知レナイト言ツタ様ナ氣運ガアル是レハ
 日本側カラ米國側カラモ起ツテ來ル私ハ此問題ヲ解決スルモノハ
 單ナル覆ケ關トワシントント中心トスル話合ヒデハ斷ジテ解決
 ハ出來ナイト思ウ名實共ニアメリカハ人民ノ國デアリ國民ノ國デ
 アル官僚政治ハ存在シナイ之ニ對シテ獨リ日本ハ官僚外交ガ責
 任ヲ執ル計リデナク日本ノ國民自ラ立ツテ、アメリカノ民衆ト直
 接々觸シテ親善ヲ加ヘル事ガ日米國間ノ親善ニ盡ス最モ有力ナル
 方法デアルト思ウ此點ニ於テ海員組合ハ對外的關係ヲ多ク持ツモ
 ノデアアルカラ充分ノ御努力御盡力ヲ願ヒタイノデアアル、米國勞働

財團法人協調會大阪支所

同盟ノ首領シヤールンベーク等ノ有力ナル人物ト提携シテ親善ヲ
 計ル事ハ最モ大切ナ事デアロウト思ウノデアアル、米國大統領ル
 ズヴェルトガ産業復興法ヲ發布スルヤ米國ノ産業ハ興リ米國勞働
 組合運動ハ非常ナ勢デ擴マツタ、米國勞働同盟ハ此法ノ發布セラ
 ル、前ニハ二百三十万デアツタガ昨年ノ大會ノ報告ニハ五百万ト
 稱シ、シヤールンベークハ更ニ來年ハ一千万人ノ組織ヲ持ツテ見
 セルト云ツテ居ル從テハ斯様ナ勢デアルカラ米國大統領等モ勞働
 組合ト提携ノ必要ヲ痛感シ頻リニ親交ノ意ヲ表ハシテ居ルノデア
 ルカラ此米國ノ勞働同盟ハ米國海員組合ガ中心デアリ而カモシヤ
 ールンベークハ先年來朝以來親日的演說ヲ爲スコト六十餘回相當
 ノ成績ヲ擧ゲテ居ル日本海員組合ガ之等ト手ヲ握ツテ力ヲ盡ス
 ナラバ日米間ノ平和親善ヲ一層進メル事ガ出來ルト思ウノデアアル
 之レニ依ツテ日本海員組合ガ日本ノ勞働運動ノ上ニ盡シタ大キナ
 實績ノ上ニ正ニ錦上添花ヲ添ヘルモノガアルト言ヘル今ヤ海員組